

長岡地区納税貯蓄組合連合会優秀賞

税で成り立つ幸せな町

長岡市立東北中学校

三年 檜出 華波

私はこの作文に取り組みまで、税は商品が無駄に高くなる自分にとって損なものだと思っていました。しかし、自分の生活をふり返ってみると、税と自分の生活には深い関わりがあるということに気づきました。

私は毎朝自転車ですぐ学校へ登校しています。私が通学している道路は、きれいに整備されていて、ゴミ一つ落ちていないので、とても走りやすいです。こうして私たちが安全に通学できるのは、税金によって道路が整備されているからです。また、冬に雪が多い長岡では、冬の通学がとても大変です。でも、朝道路を見ると、しっかり除雪されています。これも税金のおかげです。午前零時から町のパトロールが行われ除雪されます。新潟県の除雪に使われる税金は一年間で約九十九億円だそうです。私たちの安全のため、こんなにたくさん税金が使われていることを知り、驚きました。

私たちが通学している道路は税金に支えられていますが、私たちがほぼ毎日生活をしている中学校も税金に支えられています。中学生一人あたりの年間教育費は、現在約百一

万円だそうです。私の学校は六百人以上の生徒がいるので、六億円を超す税金が使われているということです。

もし、税金が存在しなかったら、私は学校へ行けないし、町の道路もボロボロだと思います。そんな世の中は想像するだけで恐ろしいです。そう考えると、私が生活している町はとても幸せだと思います。

私たちが安全に通学できることも、学校に自分の机や椅子、教科書があつて勉強できることも、当たり前ではありません。火事になつて消防士が駆けつけてくれることも、事件にあつて警察官が助けてくれることも、当たり前ではありません。私たちの生活で当たり前になっていることのほとんどが税金のおかげです。私たちの生活は税金によって支えられているのです。

私はこの作文を書いていて、初めて、税は私たちの暮らしを支え、豊かにしてくれている大切なものだと知りました。私が普段の買い物で払っている税金も、国民・市民のために使われていることを知りました。税金を払うことで、町を豊かにする活動に貢献できるということは、とてもうれしいことだと思います。

私はまだ中学生なので、消費税という形でしか、町を豊かにする活動に参加できません。でも、大人になったら、もっとたくさん税金を払うようになり、社会を支える大きな役割を担います。この作文を書くことによって気づいた税の大切さをこれからも忘れず、未来の子どもたちが安全で当たり前な毎日を送れるように、税を大切にしていきたいです。

